

令和 6 年度学校関係者評価委員 報告

令和 6 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

1. 学校関係者評価委員 敬称略

河野文夫	学校法人立志学園九州中央リハビリテーション学院 学院長
本 尚美	公益社団法人熊本県看護協会 会長
木村浩美	社会医療法人寿量会 ホームケアサポートセンター副センター長
村田 守	一新校区第六町内自治会 顧問

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

開催日：令和 7 年 3 月 24 日（月）

3. 出席者 敬称略

河野文夫	学校法人立志学園九州中央リハビリテーション学院 学院長
本 尚美	公益社団法人熊本県看護協会 会長
木村浩美	社会医療法人寿量会 ホームケアサポートセンター副センター長
村田 守	一新校区第六町内自治会 顧問

4. 評価項目

- 1) 重点目標
- 2) 教育理念
- 3) 学校運営
- 4) 教育活動
- 5) 学修成果
- 6) 学生支援
- 7) 教育環境
- 8) 学生受入れ募集
- 9) 法令等遵守
- 10) 社会貢献・地域貢献

I. 重点目標に対する学校関係者評価委員による評価

1. 教育活動について

新カリキュラムの内容に応じて、講義・実習で臨床判断の向上につながるシミュレーションや ICT を活用した授業の取り組みができています。学生個々で学力や個性が大きくなっているので、臨床で即戦力となる看護実践者の育成を行って欲しい。

2. 学生支援について

看護研究や進路について、教員全員で支援できる体制となっている。令和 6 年度は退学や留年もなく、学生支援の効果の一つと評価できる。

学生の中から、研究的視点や管理的視点を学ぶことは重要である。文章力の課題は SNS 世代の特徴でもあり看護基礎教育としても取り組みを継続してほしい。

3. 教育環境について

各学年の学生数増加に対応するため、適切な教材や演習補助教員の配置と環境の改善について評価しながら取り組む必要がある。

4. 学生の受け入れ募集について

SNS や公共広告による様々な広報活動により、熊本医療センター附属看護学校の認知度向上に努められている。また、高校訪問、オープンキャンパス、高校生 1 日看護学生体験などを計画的に実施している。18 歳人口の減少傾向による、受験者数の減少はあるが、入学試験に一般推薦入学試験を導入し、学生確保は確実に充足できている。今後も学生確保に向けて広報活動を工夫し、継続していく必要がある。

5. 社会貢献・地域貢献について

令和 6 年度は、ボランティア活動や地域への出前講座に積極的に実施できている。また、授業でも地域住民の参加型の講義の継続ができており、高齢者との交流の機会にもなっている。社会貢献・地域貢献として交流の場をもっていることは、地域にとっても効果的な活動である。学生と高齢者の関わりが看護師の能力獲得につながることを期待している。

Ⅱ. 専門学校の評価指標を活用した質問紙による評価結果

評価項目		平均
教育理念に関する評価	1. 教育理念、教育目的・卒業時の人材像・学校の特色が明記され、学生や保護者に周知されているか。	4.0
	2. 教育目標、卒業時の人材像は医療の動向や社会のニーズに向けて方向付けられているか。	4.0
学校運営に関する評価	3. 病院全体の目的に沿った運営方針が策定され、その運営方針に沿って事業計画が策定されているか。	4.0
	4. 意思決定機能は規則等において明確にされているか。	4.0
	5. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4.0
教育活動	6. 教育理念、教育目的、卒業時の人材像を踏まえて教育計画を立案し、教育計画に則って実施し、評価、改善を行っているか。	4.0
	7. 社会のニーズや医療の動向を踏まえて教育内容を改善し、学生が主体的に学ぶことができるように教育方法の改善や教育の資質の向上のための取り組みを行っているか。	4.0
学習成果	8. 就職率、看護師国家試験合格率の向上が図れているか。	4.0
	9. 卒業率の向上が図れているか。	4.0
	10. 卒業後のキャリア形成の効果を把握し、教育活動の改善に活用されているか。	3.5
学生支援	11. 就職・進学に関する支援体制は整備されているか。	4.0
	12. 学生相談に関する体制は整備されているか。	3.5
	13. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4.0
教育環境	14. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3.8
	15. 学生が学校生活を快適に過ごせるように整備されているか。	3.8
学生の受け入れ募集	16. 学生募集は適正に行われているか。	4.0
	17. 学生募集活動は適切に行われており、その効果を評価しているか。	4.0
法令遵守	18. 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3.8
	19. 個人情報保護のための対策がとられているか。	4.0
	20. 自己点検・自己評価を実施し、その結果を公表しているか。	4.0
	21. 学校関係者評価を年に1回以上実施し、その結果を公表しているか。	4.0
社会貢献・地域貢献	22. 地域に対する公開講座・研修等の受託を積極的に実施しているか。	3.8
	23. 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	4.0

*評価基準：4. 適切である 3. まあまあ適切である 2. 適切とまでは言えない 1. 適切ではない

Ⅲ. 総括

今後の課題について以下の3点が挙げられた。

1. 臨床推論力や看護実践力の向上をねらいとした教育実践を充実させ、効果的な学習の場となるよう支援する。
2. 教材や教育環境の改善に向けた取り組みを継続する。
3. 地域交流ができる教育内容の充実や、積極的なボランティア活動への参加により社会貢献ができるよう支援を継続する。